

eco-op

2021

～環境活動の手引書～

おすすめ①
環境活動を
これから
始めたい人へ

おすすめ②
環境問題の
現状をもっと
学びたい人へ

おすすめ③
環境活動の
実践事例を
知りたい人へ

■eco-opの発行目的

環境活動の意義とやりがい、そして具体的な活動例を伝えることで、全国大学生協連の各会員生協での積極的な環境活動の実践を促すために、社会的課題委員会（環境チーム）と全国環境セミナー実行委員会が編集し本冊子を発行します。

■全国環境セミナー2020との繋がり

本冊子は、オンラインで開催された「全国環境セミナー2020」の学びを元にした記事となっております。セミナーの復習や学びへ触れるきっかけとして活用できます。巻末に動画へのアクセスもあるので、実際に見ることも可能です。

Topics 1

プラスチック問題に対する大学生協の取り組み方針

Topics 2

Plastics Smartについて ～大学生協も賛同しました～

Chapter 1

環境問題の 現状を知ろう

- ✓ 世界と日本の「今」～環境問題、知ってますか？～
- ✓ レジ袋なぜ有料に？～レジ袋を通してプラスチックを考えよう～
- ✓ 環境活動とは～環境活動の背景とは？～
- ✓ 環境活動の意義～「なぜ」を理解する環境活動～
- ✓ 「大学生協が」環境活動に取り組む意義
- ✓ 大学との関わりから有料化へ～三重大大学の事例より～

Chapter 2

環境を守るために 私たちができること

- ✓ 世界のみみんなで目指す目標～SDGs～
- ✓ 持続可能な開発って？
- ✓ 私たちの生活の中でできること～身近なところから～
- ✓ みんなで環境活動に取り組もう！
- ✓ リリパックについて ～ヨコタ東北訪問記～
- ✓ JUON NETWORKとは

Chapter 3

大学生協の活動と 実践事例から学ぶ

- ✓ 大学生協の活動～活動の種類と環境への影響～
- ✓ 大学生協の活動～大学生協ならではの意義～
- ✓ 全国の環境活動～学生委員会実態調査より～
- ✓ 活動実践事例紹介ページ

Topics 1

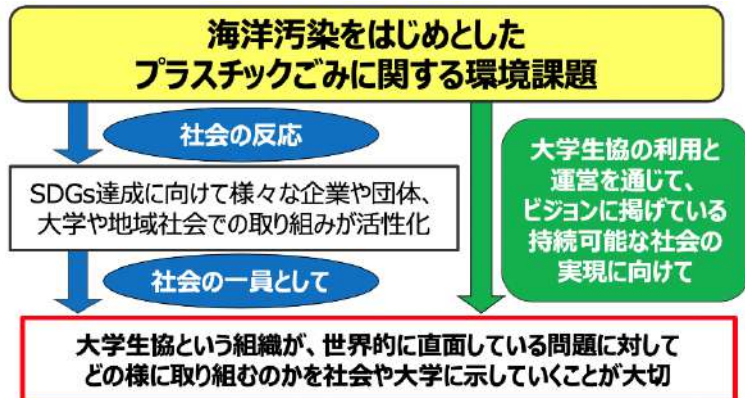
プラスチック問題に対する 大学生協の取り組み方針

～ 5つの方針と活動課題～

● プラスチック方針（略称）とは？

現在、世界で話題になっている環境問題の中でも、海洋汚染をはじめとしたプラスチックごみに関する問題は特に重要視されています。

2015年にSDGsが採択され、持続可能な社会を目指すという動きが増えてきている中、そして、**持続可能な社会の実現をビジョンとして掲げる大学生協**が、どのようにプラスチック問題に対して取り組んでいくのかを考える視点として、この方針を定めています。



※2019年11月16日(土)全国大学生協連 理事会にて確認

● 5つの方針を深める

【プラスチック方針で掲げる5つのテーマ】

◆ 知り・知らせる場作り

学習会や学習資料の作成を通じて、まずは会員生協やブロックが**環境活動やプラスチック問題に関する知識を蓄え**、それらをもとに、**組合員に大学生協の環境活動の意義を広めていきます**。

こんな実践ができるかも

- ちょっぴりにニュースの発行など**環境教育的な要素**を持った取り組み
- 既に行っている**環境活動の取り組みの意義**を説明したポスターやPOPの設置

◆ プラスチックごみの排出量削減

生協店舗の利用や運営の中で発生する**プラスチックごみの排出量を削減するための取り組み**を積極的に行います。

こんな実践ができるかも

- レジ袋有料化や、ワンウェイプラスチックの置き換えなどによる**利用機会の減少**や、**利用辞退の促進**
- リサイクル弁当容器やPETボトルなどの**再資源化できるものを分別回収できる環境の整備**



Topics 1

プラスチック問題に対する 大学生協の取り組み方針

～ 5つの方針と活動課題～

◆取り組みを通じた“学びと成長”

大学生協が環境に配慮した行動のできる場となり、その利用を通じた学びを踏まえ、大学の中だけに限らず日常生活で持続可能な社会を意識した行動が取れる組合員を増やしていきます。

こんな実践ができるかも

- マイバッグの取り組みや必要以上のワンウェイプラスチック製品の配布を控え、組合員が自身で選ぶ機会を作り、その行動が日常生活に浸透するような環境づくり

◆大学とのパートナーシップ

生協利用を通じたものに限らず、大学との協力関係を築き、**大学生協だけではできない取り組みの展開**を考えていきます。

こんな実践ができるかも

- 日常の大学生活の中にも環境を意識できる取り組みを大学と協力して実践し、大学の関係部署との連携の中でより発展的な取り組みを行える関係を築く

◆定期的な見直し

継続した取り組みができるように意識し、一定期間ごとに取り組みの評価（総括）や**大学生協としての姿勢の表明**を継続的に組合員に対して行います。

こんな実践ができるかも

- 毎年同じ取り組みを行うのではなく、振り返りをした上で、社会や組合員の状況に合わせて取り組む
- 組合員の入れ替わりの多い大学生協だからこそ、新学期時期などに改めて、大学生協が行っている取り組みの意義を再発信する

【より発展的な取り組みへ！！】

ただレジ袋を有料化するだけや、POPの設置だけにとどまらず、大学生協として持続可能な社会を実現するとはどういうことなのか考えながら、大学生協ならではの取り組みへと発展させていきましょう。



12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさを
守ろう



Topics 2



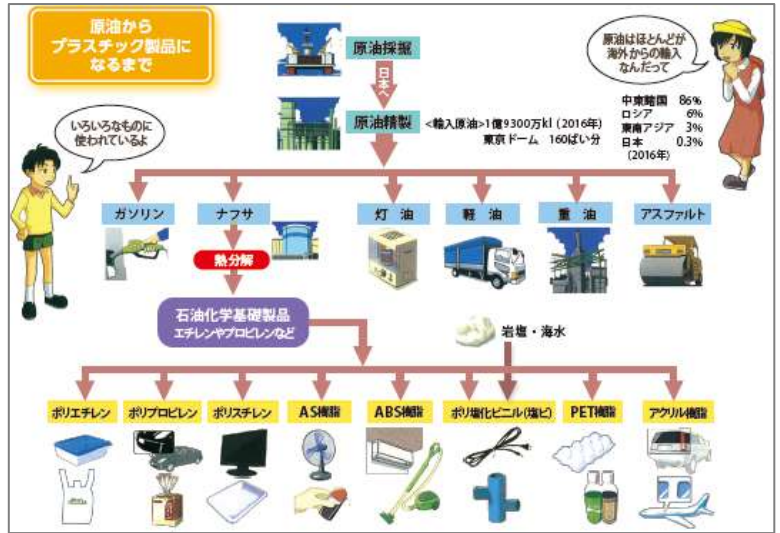
Plastics Smart について

～大学生協も賛同しました～

●プラスチックは便利。一方で環境問題も引き起こしている…

プラスチックの原料

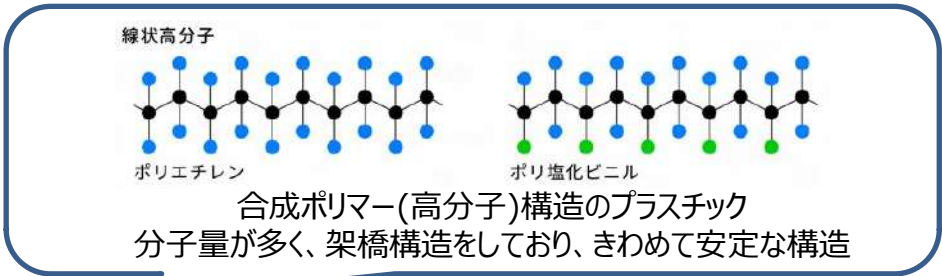
- ✓原油が原料となっていることがポイント！
- ✓原油を精製してできたナフサが素材になる。



石油が原料となっている素材を燃やして処分することで、温室効果ガスである二酸化炭素を排出しており、**地球温暖化につながっている。**

プラスチックの性質

- ✓軽い
- ✓衝撃に**強い**
- ✓かなり**丈夫**である
- ✓さびない
- ✓電機を通さない
- ✓薬品で変化しにくい
- ✓加工しやすい



熱酸化や光分解はされるが、**理論上10年以上～数千年は分解されない！**

●プラスチックを減らすことによって

地球温暖化対策として

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を減らす



海洋汚染対策として

海洋生物の保全と豊かな海洋資源を守ることに繋がる



Topics 2



Plastics Smart

について

～大学生協も賛同しました～

● 環境省が中心となって取り組むキャンペーン

- ✓ プラスチックの問題に対して、個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体が、それぞれの立場でできる取組を行い、**プラスチックと賢く付き合っていくことが重要**。
- ✓ 環境省では、これらの取り組みをさらに社会に広げていくため「プラスチック・スマート」キャンペーンを実施。

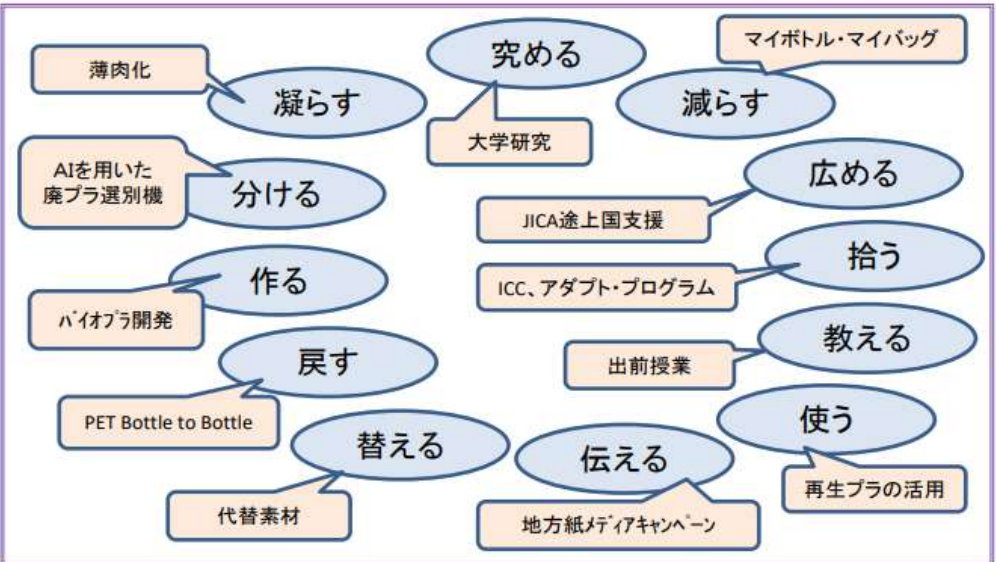


主体

- ・ 各省庁
- ・ 市区町村、都道府県
- ・ 業界団体
- ・ NGO、NPO
- ・ 企業
- ・ 個人、消費者 等

多様な
ステークホルダー
とともに、

取組



多様な創意
工夫を通じて、
プラスチック削減
を実現していく！

出典：環境省「Plastics Smart」公式サイトより
<http://plastics-smart.env.go.jp/>

● 大学生協連もキャンペーンに賛同しました！

プラスチックスマートに関連する取り組みは、大学生協も創意工夫を凝らしながら、全国各地で展開されています！それらの取り組みを、さらに社会に発信し、地域社会や大学などのステークホルダーとともに展開できるように、2018年7月に本キャンペーンへ賛同しました。

全国大学生協連としても、全国環境セミナーや本冊子（eco-op）を通じて取り組んでいます！みなさんも取り組んでみましょう！

Chapter 1

環境問題の 現状を知ろう

♣このChapterのポイント

- ①環境問題と環境活動の現状について理解しよう。
- ②環境活動に取り組む意義を考えてみよう。

♣ページ紹介

- ✓ 世界と日本の「今」～環境問題、知ってますか？～
- ✓ レジ袋なぜ有料に？～レジ袋を通してプラスチックを考えよう～
- ✓ 環境活動とは～環境活動の背景とは？～
- ✓ 環境活動の意義～「なぜ」を理解する環境活動～
- ✓ 「大学生協が」環境活動に取り組む意義
- ✓ 大学との関わりから有料化へ～三重大大学の事例より～



世界と日本の「今」

～環境問題、知っていますか？～

20環セミ企画①

● 森林問題

森林問題として、まず思い浮かべるのが「割り箸」だと思います。大学生協でも提供されている、「間伐材」を使った割り箸が広まりつつありますが、「間伐材」ってなんでしょう？

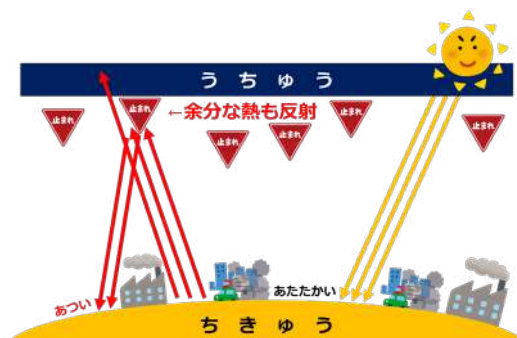
高度経済成長の際に、日本では大量に植樹しましたが、大量に木を植えたままだと、太陽光が地面に届かず、木が育ちません。そこで、ある程度成長した木を伐採(「間伐」といいます)して、森林にゆとりを作ることで木々が育ちやすいようにします。その過程で伐採した木を加工する際の余った部分を加工したものが、「間伐材」を使った割り箸になります！



● 地球温暖化

一度は聞いたことのある「地球温暖化」とはどんな現象なのでしょう？ 地球は太陽熱によって温められていますが、地球からも熱を放出している状態です。それを防ぐのが、二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」ですが、その量が増えることで、地球に熱が溜まりすぎてしまい、地球の平均気温が上がってしまう状態を「地球温暖化」と呼んでいます。

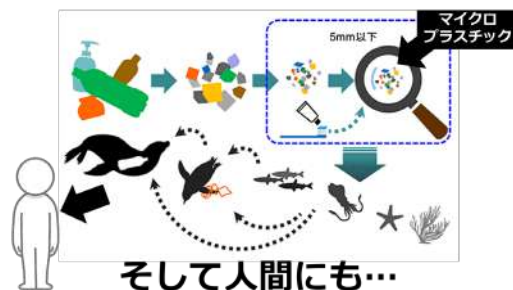
世界では、海面上昇、異常気象の増加、生態系の変化、生活の変化など様々な影響が出ています。富士山も地球温暖化の影響を受けていること、知っていますか？



● 海洋プラスチック問題

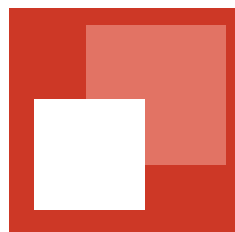
私たちの身の回りには多くのプラスチック製品があります。このプラスチックが適切に処分されないことで、海に「プラスチックごみ」として流れ着いてしまいます。世界中の海には、合計で**1億5,000万トン**ものプラスチックごみが浮いています。**日本人は、1人当たり年間で32キログラムのプラスチックごみを出している**計算に…！

プラスチックごみの影響はどのようなものがあるのでしょうか？ ウミガメを始めとした海で生きている生き物たちは**エサであるクラゲと間違えてプラスチックごみを食べてしまい…**ということが起きています。また、海を漂う中で細くなったもの(「マイクロプラスチック」)を食べてしまった魚を、私たち人間が食べることで、**自分の体内にもプラスチックごみが…？**



✎ Point

- ・まず「環境問題の現状」を知るところから始めよう！
- ・インターネットや書籍など少しずつ調べてみよう！





レジ袋なぜ有料に？

～レジ袋を通してプラスチックを考えよう～

● 2020年7月1日 レジ袋が有料になりました。

プラスチックは、私たちの生活に多大な恩恵をもたらしていました。身近なものとしては、レジ袋やペットボトル・ラップフィルム、そのほかにも、スマートフォンやPC・スポーツ用品等、今の生活には欠かすことができないものとなっています。

一方、プラスチックの影響で資源廃棄物製薬や海洋ゴミ問題、地球温暖化といった**地球規模の課題が深刻**となっています。その**プラスチック戦略の1つとしてレジ袋の有料化**が決まりました。

さらに、レジ袋で出た売り上げは各事業者に委ねられており、その用途については情報発信することが重要です。



Plastics
Smart



● レジ袋の有料化。私たちにできることは？

レジ袋有料化の背景には、「消費者がレジ袋を受け取らない生活を目指す」ということがあります。特に消費者としては以下のことを意識して生活をしてみましょう。

✓レジ袋を辞退する生活を送りましょう。

✓繰り返しレジ袋を利用するようにしましょう。

✓レジ袋有料化を基にプラスチックについて考えましょう。

今まで何気なくもらっていたレジ袋でしたが、有料化に伴ったエコバックの利用で辞退する人も増えたのではないのでしょうか。この機会に、プラスチックとの付き合い方や、地球に与える問題などをいろいろな人と考えてみましょう。



● どんなレジ袋を有料化？ 大学生協のレジ袋は？

有料化しなくても良いレジ袋が3種類あります

①プラスチックフィルムの厚さが50マイクロメートル以上のもの

→繰り返し使用できるため

②海洋生分解性プラスチックの配合率が100%のもの

→自然界に返ることができるため

③バイオマス素材の配合率が25%以上のもの

→バイオマスがカーボンニュートラル※のため

大学生協のレジ袋は③にあたります。バイオマス素材が90%となっており、環境に良いレジ袋となっています。**各大学生協のレジ袋の扱いについて議論をしてみてください！**

※カーボンニュートラル

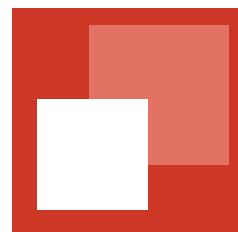
何かを生産したり、一連の人為的活動を行った際に、排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量である、という概念。



このページの情報は、環境省の「プラスチック製買物袋有料化実施ガイドライン」を参考としております。
<https://www.env.go.jp/recycle/y0313-04/s2.pdf>

Point

- ・有料化は2020年7月1日から始まっています。
- ・レジ袋を通してプラスチック問題を考えましょう！





環境活動とは

～環境活動の背景とは？～

● 環境活動とは？

環境活動とは、環境問題を解決するための活動です。
では環境問題とは何でしょうか？私たちは「人間が起こした影響のせいで、生物に悪影響を及ぼしてしまうもの」と考えています。

～具体的な例～

- ・地球温暖化 ・資源枯渇 ・水質汚染 ・ごみ問題
- ・大気汚染 ・土壌汚染 ・干ばつ ・放射性物質 etc.

環境問題を起こしてしまうのは人間、
そしてそれを解決できるのも人間です。



● 全国環境セミナーとは？

「これからの社会を担う人間として主体的に行動し、持続可能な社会をつくること」を目的とした全国大学生協連主催のセミナーです。

参加者には大学生協に関わる学生や職員のみならず、環境サークルといった団体の方もいます。

大学生協は環境活動に関心をもって行動できる人間を育てる学び舎として環境活動に積極的に取り組んでいます。
環境問題を学び、環境活動を知って、実際の活動へとつなげていく志を持っています。



全国環境セミナー
(↑ '19 / → '20)



● 環境活動を始めるためには

環境問題を意識して、現在の状態（現状）をどうすれば改善できるか、どう変化して欲しいかを明確にすることから環境活動は始まります。

環境問題は危機的意識を持たなければならない段階まで到達しています。

問題を解決したいという想いを強く持って、それを共有し合うことで、共感の輪が広がり、大きな活動になっていきます。

身近にある環境問題から目をそらさず、まずは小さなことからでも初めて持続可能な社会をみんなで目指していきましょう。



Point

- ・環境問題は生物に悪影響を及ぼすもの。
- ・現状を意識して、どう改善したいか考えよう！





環境活動の意義

～「なぜ」を理解する環境活動～

● 環境活動は持続可能な社会作り

環境活動を行うことで何が良いのかを考えたことはありますか？「環境」とは私たちが日々生活をしている身の回りの状況のことを指し、規模は身近な地域単位から世界にまで及びます。

環境保全を怠ることで、現在の私たちの暮らしの水準を維持することは難しく生命体に悪影響を及ぼします。**環境を守ることによりこれからの私たちの暮らしをよりよいものへと向上させることが可能**です。

現在の「当たり前」をこれからも当たり前とするために環境問題に目を向け、1人ひとりが環境活動に取り組み、私たち自身が持続可能な社会、暮らしを作り上げていくことが大切です。



● 環境活動による効果（地球温暖化）

環境活動を行うことでどのような効果があるでしょうか。現在、最も深刻な環境問題は地球温暖化です。これは地球温暖化が種々の被害をもたらすという被害の範囲の広さ及びその原因と対策がエネルギー問題にかかる私たちのライフスタイルにも関わっているからです。

温暖化を食い止めるのはエネルギーを無駄なく賢く使うことが大切です。それだけでなく、私たちが普段利用している自動車の使い方1つで地球温暖化を促進する二酸化炭素の排出量を防ぐことができます。環境活動を行うことによる意味をしっかりと把握しましょう。



● 意義を理解するための教育

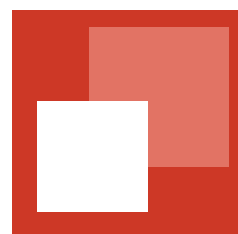
上記のようなことを理解するためには**環境教育**が必要です。現在の学習指導要領ではほとんどの課目において環境について学ぶように指導されています。正しい知識と指導力のある先生に教えてもらうことが日本や世界を変えていくことにつながりますが全ての方が簡単にできることではありません。

環境活動を行うことによりどのような効果があるのかを私たち自身が理解をして活動をしていくためにも、みんなと環境のことについて話し、知らない人や考えていない人に環境の大切さを伝えていくことが求められています。



Point

・自分たちの暮らしを自分たちで守るために、全員で環境活動に取り組むことが大切だね！





「大学生協が」環境活動に取り組む意義

● 組織が環境活動に取り組む3大メリット！

● 社会的責任を果たす

組織・企業による環境破壊によって公害問題が発生した歴史があります。そのため組織・企業は、環境に配慮する義務が課されています！

例えば「京都議定書」によって日本は、2008～12年の間に6%の温室効果ガスの削減が課されました。日本の組織・企業は、この目標に協力する必要がありました！

● イメージアップ・売上向上

①を意識して環境活動に取り組むことによって、消費者から見た組織・企業は、よい印象を持たれるようになります。平たく言えば、環境活動にお金をかけることで、結果的には儲かる可能性が高い、ということです。

● コスト削減

環境に配慮した活動は、事務所やデスクでも可能です。例えば資料をデータでやり取りする、ペーパーレス化など。これは紙を使わないため、結果的には会議の際などのコストが削減できます！

環境活動の意義 ～組織～

- 1 **社会的責任を果たす**
公害問題・京都議定書など
- 2 **イメージアップ・売上向上**
信頼／人材獲得・購買意欲など
- 3 **コスト削減**
ペーパーレス・エアコンなど

● 「みんな(組織)」で取り組むことが重要！

● 自分たち事

詳しくは後のページで触れますが、環境問題は「私たち」の問題です！他人ごとにせず、積極的に取り組んでいきましょう。

● 割れ窓理論より

「みんな(組織)」で環境活動に取り組まなければならない理由として「割れ窓理論」が挙げられます！

誰か一人が手を抜くことで、他全員の努力が水の泡になってしまうこともあるのです。



【割れ窓理論】とは 軽微な犯罪も徹底的に取り締まることで、凶悪犯罪を含めた犯罪を抑止できるとする理論

● 大学生協が先駆者になるべき！

ここまで「環境活動は「みんな」でしたほうがいい。／するべきだ。」という理由をまとめてきました。

一旦、大学生協の基本的な目標に戻ってみると“「みんな」で、「みんな」の生活をよりよくしていこう！”というものがあります。つまり、「みんな」で取り組むべき環境活動は、大学生協の基本的な目標を達成するために取り組むべき活動だと言えるのです。

大学生協こそが、環境活動の先駆者として他の組織・企業の見本となるべきなのです！

環境活動の意義 ～大学生協～

自分たち事 割れ窓理論

「みんな」で環境活動に取り組む見本となるべき！

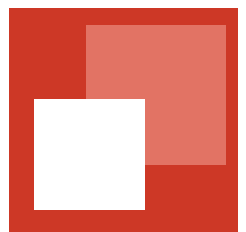
↑↑↑↑↑

そもそも...

＜大学生協の理念＞
みんなで、みんなの生活をよりよくしていこう！

Point

- ・なぜ「みんな」で取り組む必要があるのか。
- ・なぜ「大学生協」が取り組むのか。その疑問の答えが、このページにあります！





大学との関わりから有料化へ ～三重大学の事例より～

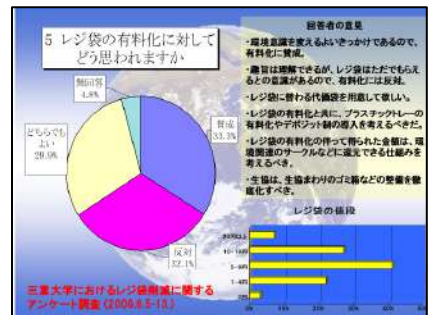
社会的課題委員会の委員として活動している三重大学の朴恵淑先生より、三重大学と三重大学生協が一体となって取り組んだ環境活動について教えていただきました！全国的にも早くからレジ袋有料化からレジ袋0を実現した事例を学び、これからの環境活動のきっかけを考えてみませんか？

● 三重大学の「レジ袋有料化」活動

2006年11月、三重大学が、日本の大学初の全学部一括のISO14001認証獲得に伴って、三重大学固有のマイバッグを制作して、全教職員や学生へ無料配布を行なったことをきっかけに環境活動が始まりました。

朴恵淑先生と環境ISO学生委員会のメンバーを中心に、生協を利用する組合員に向けて「レジ袋有料化」に関するアンケートを取り、1枚5円の有料化を実施すれば「三重大学生協でのレジ袋がゼロにできる」と確信したようです。当時の三重大学は、毎年約20万枚近いレジ袋を使っていたため、それをゼロにした場合、**単なる二酸化炭素削減だけでなく、生活全般に関する意識改革になるとの**思いから行動しました。

結果として、2008年1月1日から、三重大学生協において、**レジ袋有料化をスタートさせ、生協でのレジ袋ゼロに成功しました。**



▲アンケートの結果

● 三重県内へのレジ袋有料化運動の拡大

三重大学生協でのレジ袋有料化の成功から、すぐに伊勢市において全スーパーマーケットとチェーンストアでのレジ袋有料化の成功、続いて、松阪市、津市などを經由して、四日市地域、全三重県の29市街に広がりました。そして、レジ袋有料化が2012年4月1日から三重県全域において実施されるようになりました。

2020年7月1日から日本全国でレジ袋有料化が実施されたことを踏まえると、12年も前に三重大学生協で実施したレジ袋有料化がきっかけとなり、三重大学、三重県全域でのレジ袋有料化へつながったといえます。



▲学生の活動の様子

● 学内コンビニでのレジ袋ゼロの動き

2009年10月1日にオープンした、三重大学内のコンビニ「MINISTOP」は、当時、コンビニ協会の猛反対によってレジ袋有料化ができない状況でした。そのため、レジ袋を置かない、つまり、レジ袋ゼロのコンビニを売り出そうとする戦略を打ち出して、**日本初のレジ袋ゼロのコンビニ**となりました。

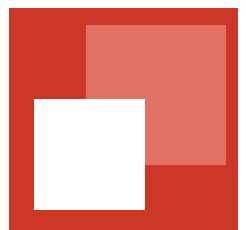
三重大学や三重大学生協において実施した「レジ袋有料化」の成功事例があったからこそ、**環境意識を変える身近な環境活動が発火になり、波及効果によってコンビニも環境活動の仲間となりました。**



▲作成したマイバッグはこちら

Point

- 大学と協力し、大学生協が環境活動の輪を広げることができた。
- 組合員の利用実感から、学内への理解を広げることができた。
- 環境問題への意識改革につながり、組合員・三重県民がより環境に配慮した生活へ。



Chapter 2

環境を守るために 私たちができること

♣このChapterのポイント

- ①環境を守るための行動について考えてみよう！
- ②日頃からできることと効果・影響を考えてみよう！

♣ページ紹介

- ✓ 世界の人みんなで目指す目標～SDGs～
- ✓ 持続可能な開発って？
- ✓ 私たちの生活の中でできること～身近なところから～
- ✓ みんなで環境活動に取り組もう！
- ✓ リリパックについて ～ヨコタ東北訪問記～
- ✓ JUON NETWORKとは



世界の人々で目指す目標

～SDGs 持続可能な開発目標～

● 世界で目指す17の目標 : SDGs (持続可能な開発目標)



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SDGs (持続可能な開発目標)とは2015年9月の国連サミットで決められた すべての国が2030年までに達成を目指す17の国際目標のことです。17の目標と 169の数値目標から構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むものとして、設定されており、日本としても積極的に取り組まれています。

● SDGsで大切にしたい考え方

"誰ひとり取り残さない" No one will be left behind

すべての人のための目標の達成をめざし、もっとも脆弱な立場の人々に焦点をあてます。

5つのP

- People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership

人間、地球、豊かさ、平和のための目標であり、統合的な解決を国際社会のパートナーシップにより実現をめざします。

出典：日本ユニセフ協会 SDGs紹介ページ

<https://www.unicef.or.jp/sdgs/concept.html>



Point

・環境問題だけではなく、世界すべての国に共通する課題の統合的な解決を目指すのがSDGs！





持続可能な開発って？

～SDGs 持続可能な開発目標～

●「持続可能な開発」の意味

「将来世代のニーズを損なうことなく 現在の世代のニーズを満たすこと」

この言葉が生まれた背景を説明すると、1972年の国連人間環境会議の中で環境問題への取り組みが本格化したのをキッカケに、世界中で環境問題への議論が行われてきました。そして、1987年に「Our Common Future」と呼ばれる報告書がまとめられ、上記の持続可能な開発の概念が示されました。

図4-2-1 「持続可能な開発」及びESDの例え話



資料：環境省



ESD(Education for Sustainable Development)とは、「一人ひとりが世界の人々や将来世代、また、環境との関係性の中で生きていることを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育のこと」を言います。

出典：環境省 ESDって何だろう？
<http://eco.env.go.jp/whatesd.html>

出典：環境省 平成27年版 図で見る環境・循環型社会・生物多様性白書
<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/zu/h27/html/hj15010402.html>



大学生協では、SDGsの取り組みを推進しています。詳細は、全国大学生協連ホームページ「SDGs特設サイト」をぜひご覧ください。
<https://www.univcoop.or.jp/sdgs/index.html>

Point
持続可能とは、
現在と将来の両方を考えること





私たちの生活×環境

～その行動、環境にいい？～

20環セミ企画①

●環境問題を自分事として捉えるために

環境問題の現状を知ってもスケールが大きすぎると自分事として捉えるのは難しいかもしれません。「たしかに」「自分にも関係がある」と実感しやすいであろう日常生活の行動という身近なところから環境問題を自分事として捉えてみましょう。

食品ロス問題にも関連します

●日常生活の行動が環境にどんな影響を与える？

●ペットボトル飲料を買う

飲み終わって捨てたペットボトルなどプラスチックごみはリサイクルされていると思いきや、海外に輸出されているそうです。しかし、2018年、主な輸出先であった中国が輸入を停止しました。**環境汚染に繋がっていたことが理由の一つとしてあげられます。**プラスチックごみの多くは、食べ残しが付いているなど資源としてリサイクルしにくく、業者は**不法投棄や海に流出**させていました。これは中国に限らず他の国でも起こっているそうです。

→**海洋プラスチック問題**につながっている

●電気をつけたまま寝る

寝ている間に unnecessary 電気が作られます。電気をつくるためには石油や石炭などの資源を燃やします。そうすることで、**CO₂などの温室効果ガスが発生**します。

→**地球温暖化**につながっている

●商品棚の奥から商品を取る

奥にあるものの方が賞味期限が長いので長持ちします。しかし、奥から商品を取ってしまうと、手前にある賞味期限の近いものが残ってしまい、賞味期限をすぎたものは**廃棄**されてしまいます。廃棄される食料のごみ処理過程や生産過程では**温室効果ガスが発生**します。

→**地球温暖化**につながっている



●一人ひとりが環境に配慮した行動をとりましょう

上のような行動を自分一人だけが続けても環境への影響ってそんなに大きくないのでは？とは思うかもしれません。しかし、生活を送っているのは自分一人だけではありません。たくさんの人がやってしまうと環境問題が深刻化し、**今のような当たり前の生活ができなくなる**かもしれません。**持続可能な社会の実現が難しくなる**、ということです。それを防ぐためにも、環境を守り、一人ひとりが日々の暮らしの中で環境に配慮した行動をとることが大切です。



✎ Point

- ・身近なところから環境問題に目を向けましょう。
- ・一人ひとりが環境に配慮した行動をとることが大切！





環境活動に取り込もう！ ぜひ、ワークをしてみましょう！

20環セミ企画③

環境問題を知り、環境活動を考えるだけでなく、周囲り巻き込んだ環境活動ができないか考えてみましょう！20年度の全国環境セミナーでは、それぞれがワークシートを用いて計画を立てました。巻末に準備していますので、皆さんもぜひやってみましょう！

● ①活動のゴールを決める(シートA)

このシートAは、環境活動のゴールを考えていきます！このシートをとおして、自分が何に対して・何のために環境活動をおこなうのかを考え、活動の第一歩を踏み出しましょう。

～手順～

I.理想を①のところに書く

環境が今置かれている状況が見えてくるね！

II.理想をなんで実現したいと思ったのか、
環境の現状や問題意識を②に書く

III.問題意識にまつわる
解決が必要な課題を③に書く
(この時問題意識と課題を線でつなげる)

課題③が解決した姿を想像してみよう～

IV.③から目指す状態(ゴール)を想像して④に書く

① 私の理想～
ゴミが落ちていないキレイな砂浜

② 問題意識
ごみがたくさん落ちている
海洋生物がゴミを食べてしまって命の危険に陥りもしている

③ 課題
ゴミ捨てをする人がいる
清掃をする人が雇われている
海のルールが伝わっていない

④ ～活動のゴール～
清掃活動ができてきれいな砂浜

<シートA 記入例>

● ②誰とできるかを考える(シートB)

このシートBは、ゴールに向けておこなう1年間の行動計画を立てていきます！「誰と一緒に行動できそうか」も考えることでより影響力のある活動になり、ゴールに近づけそうですね。

～手順～

I.1年後に実現したい状態を書く

理想から逆算して考えてみよう！

II.②の左の列から
「いつ」「誰が」「どこで」「なにをする？」
の行を埋めていく(書けるところまで)

「誰が」は巻き込んだ人を書いて増やしていこう！

※このシートB ②は左から右に行くにつれて時間が経過していくように書いていきましょう！

① 1年後に実現したいこと
清掃活動が行うことができる砂浜

②

いつまで？	1週間くらい？	9月中		1年後
誰が？	自分 学生委員会	自分 学生委員会 各BK学生 委員会		
どこで活動する？	・海 ・インター ネット	各BK		
なにをする？	近くの海の 状態を調べる	現状を伝えて 危機感を 伝えたい		

<シートB 記入例>

環セミ's Point

セミナーを通して、知識も実践へのヒントも得たはず。
計画から参加者1人1人が活動の「輪」を広げていこう!!





リ・リパックについて

～『ヨコタ東北訪問記』～

● リ・リパック学習用資料を作成しました！

2019年11月に山形県にある(株)ヨコタ東北さんに訪問し、その時に学んだ内容をもとにして、「リ・リパック学習用資料」を作成しました。

右下の二次元バーコードを読み取るとデータ（パワーポイント、ワードとそれぞれのPDFの計4種類）が取得できるので、リサイクル容器回収の意義について学習する際などに使用してください。（データ容量（約70MB）には注意してください！）



● リ・リパックについて知ろう！

● 阪神淡路大震災の生きる知恵から生まれたリ・リパック

1995年に発生した阪神淡路大震災では水道をはじめとしたライフラインの多くが寸断され、飲み水すら手に入らない生活が続いていました。

その中で、食事をする際にお皿にラップを敷き、大切な水を使わずにお皿を再利用できる工夫に着想を得て、現在のリ・リパックが開発されました。

開発のきっかけ

阪神淡路大震災(1995年)の時

飲み水さえ自由に手に入らない生活を強いられる

● 社会に貢献する二つの側面【環境面】

水資源を守る

トレーを洗わずにリサイクルできるので、水を節約し、また、川や海を汚しません。このため、水の使えない屋外での使用にも適しています。

ゴミを減らす

はがしたフィルムだけがゴミとなるので、ゴミの量を大幅に削減することができます。また、フィルムは燃やしても有害なガスや物質が発生しないため、安心です。

天然資源を守る

簡単にリサイクルに参加できるので回収量が増加します。再生原料を利用することで天然資源の使用抑制と保護につながります。



リ・リパックについて ～『ヨコタ東北訪問記』～

●社会に貢献する二つの側面【福祉面】

学習資料に掲載している資料の一部を載せています。
全部で4つの施設、事業を掲載しています。

特別非営利活動法人 たんぽぽ作業所

障がいを持つ人々に対して社会の一員として、
障害福祉サービス事業（就労継続支援事業）
家族に対する相談事業を実施
共に生きる社会の実現を目指している



山形県立新庄養護学校

知的発達に障がいのある児童生徒の個に応じた
教育をする学校

小学部から高等部まであり、その中の高等部に
ある普通科就労コースでリ・リパックのシール貼りが
行われている

リ・リパックを教材として使用しており、スムーズに
身支度を行う練習や集中力の向上など、卒業後の
職業選択の幅を広げることもつながっている



●私たちにできること

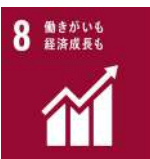
普段、何気なく回収を行っていたリ・リパックも、実は環境
面に配慮されているというだけでなく、障がい者の社会
参画の機会の創出にもつながっています。
リサイクルすることのできるただのプラスチック容器という認
識を変え、**リサイクル可能な食器**であるということ意識
し、これからの回収活動に取り組んでみませんか？

「大学生協方式」と呼ばれる回収方法→
カゴに回収する種類のリ・リパックを固定し
その上に重ねてもらっただけにしておくことで
回収率の向上が図れます。



『剥がして・重ねて・水いらず』

リ・リパックの回収活動の合言葉です。
一人ひとりの意識や行動の積み重ねが
大きな成果につながります！





JUON NETWORKについて

～どのような組織なの??～

● JUON NETWORKとは

都市と農山漁村が支え合うネットワークを、森林などをめぐる体験・交流・応援の活動によってひろげ、持続可能な社会を創造することを目的として、1998年大学生協の呼びかけによって設立された認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）です。都市と農山漁村の循環と世代を超えた人々のつながりを取り戻す活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。



● 大学生協との関係性

大学生協が行った阪神淡路大震災での支援活動がキッカケでした。震災の時、多くの学生がボランティアとして駆けつけましたが、学生が「ボランティア活動や社会活動をしたいけれど『場』と『キッカケ』がない」という想いを口にしました。そこで、大学生協は、学生が活動できる場づくりと、都市と過疎地域とのつながりを作り、「まち」と「むら」をつなぐ架け橋になるという想いから、大学生協の呼びかけのもと、1998年に設立されました。



● JUONという名前の由来

JUONは漢字で書くと、樹恩となります。この言葉は最後の棟梁と称された宮大工の故 西岡常一さんの著書に出てくる樹恩という言葉が取られました。また、都市と農山漁村の人々をネットワークで結んでいくとの意思を込めて、「JUON（樹恩）NETWORK」と命名されました。



“人・自然・環境”に思いをはせ
体験・交流・応援。 共助と協同の **20年**

Point

「まち」と「むら」を結び、学生が社会活動をする場を作っているのがJUON





JUON NETWORKについて

～環境を守るための取り組みについて～



国内・外の森林の暮らしを、体験を通して学べる「森林の楽校」

森林は地球温暖化防止、水源涵養、災害防止などの役割があります。ところが今、手入れがされず日本の森林は荒れています。「森林の楽校（もりのがっこう）」では、森づくり体験・自然散策や地元の方々との交流などを通じて、森林・環境問題について学ぶことができます。ボランティア活動のきっかけとして、参加してみませんか？（2021年度は秋田、福島、群馬2、埼玉、東京、新潟、富山、長野、岐阜、三重、京都、兵庫、徳島、香川、高知、佐賀&長崎の全国17ヶ所で開催）



都市と農山漁村を結ぶ架け橋 国産間伐材製「樹恩割り箸」

日本の森林を守るために間伐材・国産材を使うこと、障害者の仕事づくりに貢献すること、食堂の排水を減らすこと、この3つの目的をもって「樹恩割り箸」は生まれました。全国の知的障害者施設で製造され、70以上の大学生協食堂などで利用されています。

つくる人の顔が見え安全な「樹恩割り箸」は、まさに都市と山村を結ぶ「かけはし」となっています。



【連絡先】

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK（樹恩ネットワーク）

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協杉並会館内 TEL：03-5307-1102 FAX：03-5307-1091

E-mail：juon-office@univcoop.or.jp

URL：<http://juon.or.jp/>

Twitter：<http://twitter.com/JUON98>

Facebook：<http://www.facebook.com/juonnetwork>



Chapter 3

大学生協の活動と 実践事例から学ぶ

♣ このChapterのポイント

- ① 大学生協で行われる環境活動の全貌を知ろう！
- ② 全国の実践事例から活動のヒントを見つけよう！

♣ ページ紹介

- ✓ 大学生協の活動～活動の種類と環境への影響～
- ✓ 大学生協の活動～大学生協ならではの意義～
- ✓ 全国の環境活動～学生委員会実態調査より～
- ✓ 活動実践事例紹介ページ



大学生協の活動

～活動の種類と環境への影響～

前頁ではさまざまな環境活動を紹介してきました。では、その活動をすることで環境にどんな影響があるのでしょうか？そこまで考えて活動できることが理想といえます。

● リサイクル容器などの回収活動

① **プラスチック容器の回収による資源のリサイクル**

リサイクルをすることで新たなプラスチック容器の生成を減らすことができます。

② **水の使用削減**

皿を使用する場合、水洗いをしますが、リ・リパックでは必要ないので、大量の水を節約できます。

③ **二酸化炭素排出量の削減**

焼却せずに再利用をすることで、二酸化炭素の排出も削減できます。



● 清掃活動

① **水や土壌汚染の抑制**

捨てられたごみが地下水や土壌を汚してしまうのを防ぎます。

② **ごみを捨てない人を増やす**

清掃活動に参加した人が、捨てられたごみの量を受け、ごみを減らすなど生活に変化が起きるかもしれません。



● 生協店舗でのレジ袋削減

① **プラスチックの使用量減少、コストの削減**

レジ袋を使う人が減れば、その分使用量も減り、生産や廃棄にかかるコストを削減できます。

② **無駄な買い物の減少**

買い物に歯止めがかかり、無駄な消費を防ぐことができます。

③ **日常的にレジ袋の使用を控える意識**

エコバックを持つようになった人は、生協店舗以外のお店でもレジ袋を使わなくなるでしょう。



ここで挙げたものはあくまでも一例です！！

eco-opを読んでいるみなさんも自分たち、自大学での影響を考えてみましょう！！

Point

自分たちが行う(行いたい)活動が環境にどんな影響を与えているのかを考えてみよう！！





大学生協の活動

～大学生協ならではの意義～

環境活動の**意義**を考えることで、活動へのやりがいを感じて、周囲の人も一緒に取り組みやすくなります。ここでは大学生協ならではの意義を載せています。活動に意義を感じる部分は人それぞれですが、みなさんも自分なりの環境活動に取り組む意義を考えてみてはどうでしょうか？

● 大学生協の4つの使命から考える

大学生協は「協同・協力・自立・参加」の4つのキーワードで私たちの存在意義、使命を定めています。その中でも「**参加**」は「魅力ある事業として組合員の参加を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する」ことを目指しています。大学生協が大事にしていることは「**大学生協の活動を通して、組合員が参加する場と機会を作り、人とやさしい社会をつくること**」です。そのために大学生協は環境活動に取り組んでいます。また、生協の目指すよりよい大学生活の実現には、環境も無関係ではなく、よりよい大学生活のために環境活動することに意義はあるのではないのでしょうか？



● 社会で求められる環境配慮から考える

事業が環境に配慮した経営を行うことで事業体自体による環境負荷を削減できます。大学生協も環境活動を行う一つの組織です。企業でも、自分たちの事業が成り立つのは地球の環境によるおかげであることを認識した上で、**地球をより健全な状態で次世代に引き継ぐことを社会的責務と捉え、持続可能な社会の現実を目指して行動しています。**大学生協も社会に生きる一つの組織として、学生委員会などの組織委員会や事業面での環境活動を実践しています。

● 環境教育活動として考える

環境教育活動とは、環境問題解決のための実践や事例を通し、普段の行動の中から環境に配慮した行動がとれるように環境の意識を高めるための活動です。日頃の行動の中で意識できるようになることで大学生協の外に出たときにも実践できるようになります。その**日頃の行動の癖をつけるところが大学であり、大学生協**です。**社会に出る直前の世代である大学生**に大学生協の利用を通して、自分たちが生きる未来の社会をよりよいものにして行くための行動を日常的にとれるようになってもらうことが大学生協の環境教育活動の一つです。

学生時代

リ・リパックの回収活動を通して、「**一人の行動でも環境に貢献できる**」と気づく



社会人時代

一人の行動が力になることを知っているので、**レジ袋を受け取らない**ことに決めている。



Point

「自分が環境活動に取り組む意義」
を考えてみませんか？





全国の環境活動

～学生委員会実態調査から～

● 全国の環境活動の実態

2020年度GI実態調査の回答数は **207** (学生委員会数)

その中で環境活動を行っている学生委員会は **113** と約半数

環境活動に取り組む会員数	
北海道 3/16 18.6%	北陸 3/3 100%
東北 14/23 60.9%	京滋・奈良 15/20 75%
東京 31/64 48.4%	大兵和 12/17 70.6%
東海 9/24 37.5%	中国・四国 11/17 64.7%
	九州 15/23 65.2%

← (その地域の取り組み会員数) / (地域内会員数)

地域により会員生協数に大きな差があるため、一概には言えないが、**西側の地域ほど環境に関する取り組みを行っているところが多い傾向がみられます。** 継続しているからでしょうか？ また、新型コロナの影響は来年度の調査で顕在化すると思われます。

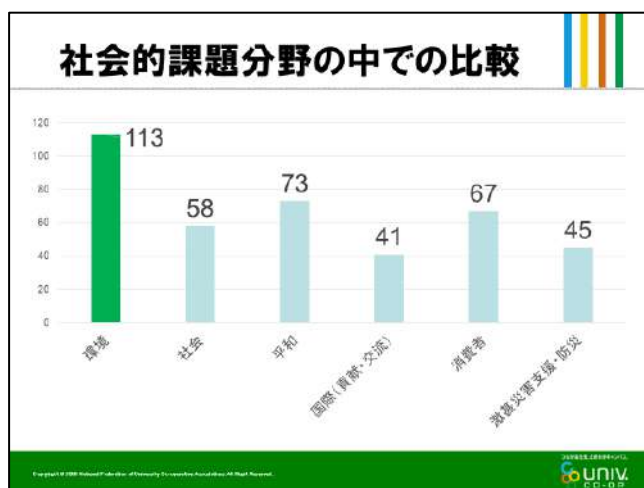
● 環境活動の特徴

環境活動の特徴としては以下の2点

- 社会的課題の中で最も取り組まれている
- 特定の活動に偏っている

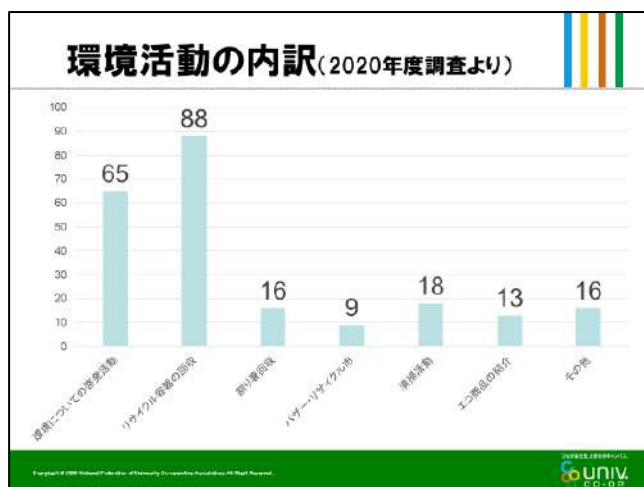
他の社会的課題との取り組み数比較→

緑色のグラフが環境に関する取り組み
他のものよりも比較的取り組みやすく、活動の手段も幅広いことが要因になっている
可能性があります。



環境活動の内訳→

リサイクル容器の回収が最も多く取り組まれている。リサイクル容器などのように元々ツールがある場合は、これまでの継続としてよく取り組まれているように思われます。
一方で啓発活動とリサイクル容器の回収活動が普及し、他の取り組みは大きくは増えていないという傾向は例年通り見られています。



【まとめ】

環境活動は多くの会員生協で取り組まれている一方、環境活動=回収活動という傾向は昨年度から継続しています。SDGsの視点での評価も含めて、活動の視野を広くすることで、取り組みの種類が増えるだけでなく、取り組みの意義の再確認へと繋がると思います。皆さんもデータの活用をしてみましょう！





～生協全体で継続的な環境活動の実践～

● 企画の背景・目的

北海道大学生協では、理事会委員会として環境課題推進委員会が設置されています。ここでは、生協の環境マネジメントや生協の取り組みについて監査と提言を行っています。

本委員会は、学生、教職員、生協職員など幅広い階層の組合員で構成されており、北海道大学生協理事会や組織委員会などから大学の組織とも連携をして取り組みを行っています。

本委員会のメンバーは、日常的な大学生活での気づきをきっかけに活動をしています。

生協外部との連携 5

- ▶ 北海道大学サステナブルキャンパスマネジメント本部（SCM本部）との連携
 - ▶ 持続可能な社会の構築に貢献することを目標に運営されている大学の組織
- ▶ 他団体との交流
 - ▶ 東京大学サステナブルキャンパスプロジェクト（TSCP）学生委員会との交流会
- ▶ 生協外部から委員会に参加

● 取り組みの概要

本委員会は幅広く活動しています。

まず、2019年の6月からは購買と食堂の、2020年の7月には書籍部でもレジ袋の有料化を実施しました。有料化の目的としては、レジ袋使用枚数を削減し、環境負荷を減らすことでした。有料化を進めるにあたって、組合員にレジ袋利用に関する調査を行い、目標の設定と有料化の宣伝を行いました。

また、レジ袋以外でも生協施設の照明調査や食堂のフードロス調査も行いました。

レジ袋有料化実施前 10

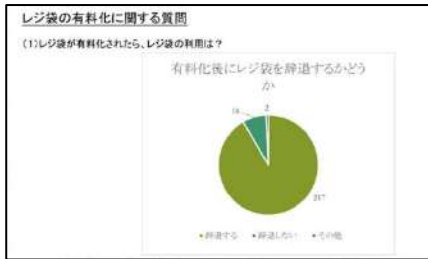
- ▶ 詳細設定
 - ▶ 日時、開催日、曜日が
- ▶ 宣伝
 - ▶ ポスター（ポスター）表示
 - ▶ 文庫等の紹介
 - ▶ POP設置
 - ▶ 学生ポータルサイトの告知
- ▶ 販路オペレーション変更

目録 13

- ▶ 生協店舗の巡回調査
- ▶ 使用枚数の削減
- ▶ フードロス削減
- ▶ 食卓でのヒアリング
- ▶ 福利厚生施設と比較
- ▶ 同朋理大学との比較

● 組合員の反応

レジ袋有料化から1年で97%の削減率です！



有料化前アンケートでは約90%の回答が「有料化したらレジ袋を辞退する」と回答しました

● 活かせるPOINT

- ◎ 委員会で活動するメンバーが、日常的な大学生活での気づきから活動していること。
- ◎ 多くの人、多くの組織と連携をして、生協全体で環境活動を行っていること。
- ◎ 一つのことに縛られず、幅広い視野と意識を持って環境活動に取り組んでいること。



【この取り組みを通じて実現できること】

- 日常生活の気づきから組合員一人一人の生活実態に沿った環境活動の実践ができる。
- 多くの人、階層で議論することで、広い視野で環境活動の実践を考えられる。





～他団体・企業との協力による大きな環境活動～

● 企画の背景・目的

コンタクトのアイシティでは「ecoプロジェクト」というコンタクトレンズ空ケース回収を通じた社会貢献活動を行っています。奈良女子大学生協の学生委員が、「コンタクトのアイシティ」でアルバイトをしている際に、その存在を認知し、周囲では想像以上にコンタクト使用をしている人が多いことを感じたことからこの取り組みの実現に繋がりました。



● 取り組みの概要

まず、学生委員と専務理事と、アルバイト先の店長の三者で話し合いを行い、奈良女子大学に回収ボックスの設置が実現しました。

回収ボックス設置後、最初はなかなか回収が進まなかったため、奈良女子大学生協の全職員と学生委員向けに学習会を実施し、少しずつ仲間を増やしました。

学習会以後では、学生委員会の別の取り組みでの積極的な周知やSNSでの広報を強化することで、この取り組みの紹介を行ったり、学生委員会のTwitterで広報をして取り組みに参加する組合員の輪を広げていきました。

一人では微力でも、みんなで身近なことからコツコツと行うことで夫変非常に大きなことを実現できた取り組みでした。



● 組合員の反応

目標としていた1000個の回収を超えました！

- 取り組みを知った職員、学生の声
- ✓コンタクトレンズの空ケースをリサイクルできるの初めて知った！これから集める！
- ✓わあ、いつもどうしていいかわからず捨てていたけど、回収できるんだ！
- ✓この活動知って家族で空ケース集めてるよ！
- ✓うちの娘がコンタクトやから、ここへ持ってくるわ

● 活かせるPOINT

- ◎ 他団体が行っている環境活動に共感し、協力しながら取り組みを実施した。
- ◎ 生協職員や学生委員の仲間に共感を広げともに環境活動を行う理解者を増やした。
- ◎ 身近な仲間から巻き込んで、みんなで大きなことを実現した。



【この取り組みを通じて実現できること】

- 組合員が、身近なことでも環境に配慮した取り組みを行うことが意識できるようになった。
- 身近な仲間から環境活動への理解者を増やすことで、多くの仲間を巻き込み大きなことを実現できた。





レジ袋削減に向けた取り組み

～多くの組合員を巻き込んだ環境活動の実践～

● 企画の背景・目的

全国環境セミナー2019の参加で、普段の生活で実は想像以上に環境に悪いことをやっていることへの気付きや、一人一人が環境問題を自分事として捉え、みんなで一緒に、積み重ねてやることで大きな成果を生み出せることを学び、この取り組みは始まりました。

そこで、セミナーの学びを活かして、まずは問題や現状について多くの組合員に広げて、知る→学ぶ→活動するのサイクルを意識しながら共感の輪を広げようという動きになりました。

● 取り組みの概要

組合員に向けて、「レジ袋に関するアンケート」を実施しました。アンケートでは、冒頭でレジ袋有料化の背景問題を伝え、日常的なレジ袋利用や欲しいエコバックの機能性について質問を設けました。

アンケートの結果は、岡山大学生協としての政策議論の材料にしました。理事会では、レジ袋を使うタイミングや欲しいエコバックの議論しました。また、結果や議論をもとに、提供するレジ袋を環境に優しいものに変更したり、マイバッグを販売したり、できるだけ袋の使用を減らす声掛けをしたりと、生協を通じて環境活動を、組合員が考える機会を増やしました！

昨年度の環境セミナーでの学び

- ✓ 自分の生活を振り返ってみて、想像以上に環境に悪いことを平気でやっていた。
- ✓ 普段の生活の中にある、ちょっとした“めんどくさい”を変えるだけで、環境問題は大きく改善される。
- ✓ 環境活動は1人1人の取り組みが大切。みんなで一緒にやれば、もっと大きな効果を生み出せる。

レジ袋に関するアンケート

世界ではプラスチックごみの削減に向けて議論が交わされています。これは日本も例外ではありません。環境省はレジ袋有料化の義務付けを目指すと発表しました。

岡大生協でも環境に配慮し、レジ袋の削減を目指しています。そこで、皆さんの普段の買い物における、レジ袋に対する意識と行動についてアンケートを行い、参考にしたいと考えています。ご協力をよろしくお願ひします。

*必須

● 組合員の反応

生協全体で、約73%レジ袋削減を実現！

- 「どうすればレジ袋を削減できるか」への回答
- ✓ 生協ショップでエコバッグを使用できることを知らなかった。その周知を進めるべき！
- ✓ エコバッグを提示した人に何らかのメリットがあるとうれしい！
- ✓ 会計の際に、レジで知るだけでもいいか聞いてくれたらレジ袋を断りやすいので、積極的に聞いてほしい！

● 活かせるPOINT

- ◎ セミナーの学びを自分たちで深めて組合員へ広く周知を行ったこと。
- ◎ 問題意識を多くの組合員と共有し、大きな問題を自分事としたこと。
- ◎ 取り入れた組合員の声から理事会の議論を行い、生協全体の取り組みに活かしたこと。

【この取り組みを通じて実現できること】

- 多くの組合員一人一人が、環境への問題意識を持つことができるようになった。
- 組合員一人一人が、環境に配慮した行動を意識的にできるようになった。





～今できる発信を、環境問題は続いている～

● 企画の背景・目的

今まではクリーンアップ（2018年度版eco-opの学内クリーンアップや2020年度版の地域清掃活動を参照）などの取り組みをおこなってきた環境部局のみなさんでしたが、コロナ禍においてなかなか活動ができないという事態に…。

そこで学生委員会Team Artistでは「全くできないことはないはずだ！」ということから、様々な部局で組合員に向けてSNSを使った発信物の作成がスタートしました。

環境部局のみんなが目指すゴールは、教員を目指す者として環境部局がなくても環境意識が組合員に広がること。そのゴールに近づくために最大限の努力をしたものが、このSNSでの取り組みだと言えます。

● 取り組みの概要

環境部局のメンバーは作成当時全員で5人。その1人1人が選んだ環境問題についてまとめた資料と、それにまつわる「環境ミニクイズ」を作成し、計10回の発信をおこないました。

取り上げた内容は「ビニール袋」「ゴミ分別とリサイクル」「節水」「節電」「エアコンの使い方」の5つ。実行までに約3週間、情報をまとめてTwitterにて投稿しました。（Twitterリンク→[まとめ/クイズ](#)）



● 組合員の反応

- ・自分の関心について調べるといって、学生委員自身の学びになった。
- ・初回の投稿では、23いいねがついた。
- ・SNSでは反応が見えづらい点があった。今後はエンゲージメント機能やフォームを使ってレスポンスを確認できるようにとのこと。

● 活かせるPOINT

- ・情報を発信するだけではなく、クイズも合わせて考えさせる工夫がされている。
- ・見やすく情報をまとめており、環境学習の間口を広くしている。
- ・教員養成系大学として、組合員の理想を描いたうえで発信が出来る。



[この取り組みを通じて実現できること]

- ・エネルギー問題や自然環境に配慮する考え方の育成、認知の向上
- ・日常生活の中での意識の変化による自然環境悪化への対策





～自分たちが感じた問題意識を取り組みに繋げる～

● 企画の背景・目的

「社会に出る前の大学生という立場で社会的課題に対する意識を持つことは、その先の生き方にプラスの影響を与える。すべての大学生にとってニーズがあるのに、学生委員会では社会的課題を認知してもらう活動をしていなかったから取り組もう」という社会的課題に関する活動の必要性を学生委員自身が感じたことが背景としてあります。レジ袋有料化をきっかけにどのような社会問題があるのか知ってもらうことを目的として、機関誌ALPHA春号にレジ袋有料化についての記事を掲載しました。

● 取り組みの概要

社会的課題に取り組むための第一歩として、問題提起や私たちにできることを機関誌で今後連載する予定です。その初回として、レジ袋有料化を取り上げ、有料化の背景や海洋プラスチック問題の現状、私たちにできることを伝えました。

新型コロナウイルスの影響でキャンパスに入構できず、配布はできませんでしたが、学生委員会HPやTwitterで公開しました。

↓こちらから閲覧できます↓
埼玉大学生協学生委員会HP
<http://www.sucoop-gi.org/GIHP/alpha2020haru.html>



● 組合員の反応

機関誌を発行するたびにアンケートを取っていますが、このレジ袋有料化の記事に関する回答はありませんでした…

対面での企画などと違って、機関誌を読んだ組合員の反応を知るのは難しいですね。埼玉大学のようにアンケートフォームも一緒に発信するのも組合員の反応を知る手段のひとつですね！

● 活かせるPOINT

- ✓ 冊子企画の1ページにすぎない(=簡単にできる)ので、冊子企画ができなくても、社会的課題に対して組合員ができることをテーマにSNSで発信できます。
- ✓ 学生委員自身の問題意識から、組合員にどんな社会問題があるのか知ってもらおうと取り組みに繋げることができました。私たちにできることも伝えることで、記事を読んだ人が行動しやすくなります！

【この取り組みを通じて実現できること】

レジ袋有料化の背景や海洋プラスチック問題の現状だけでなく、すぐに始められる「私たちにできること」が書かれているので、記事を読んで「何かやりたい」と思った人が行動に移しやすいですね！

12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう





～SNSから環境問題を「自分ごと」に！～

● 企画の背景・目的

静大生協では、社会的課題の取り組みに力を入れていますが、環境分野の取り組みはなかなかできていませんでした。そんなタイミングで、コロナ禍の影響により第1食堂でリ・リパックを用いたテイクアウト弁当の販売が始まりました。

静大生協ではこれまでリ・リパックを扱ってこなかったため、組合員がリ・リパックについてよく知りません。ちょうど6月の環境月間とタイミングが重なり、これらの環境問題を扱った広報をする絶好の機会と思い、取り組みにつながりました。

● 取り組みの概要

SNSの広報力を活用して、8回にわたって環境問題について写真1～2枚にまとめる形での発信を行いました。曜日と発信時間を固定して、定期的な発信を心掛けていました。

取り扱った内容は「地球温暖化」や「レジ袋有料化」といった個々の環境問題についてが主でしたが、大学生協で行っている環境に関する取り組みとして、「リ・リパック」と「樹恩割りばし」の2つを取り上げ、取り組みの意義や効果を分かりやすく組合員に紹介することができました。

● 組合員の反応

SNSで発信したので、いいね・RTなどのインプレッションが多くつき、多くの組合員に画像も含めてツイートなどを見てもらうことができました。

SNSでの発信だと、直接「見たよ！」というリアクションをもらうことが難しいですが、実際にツイートについての反応などから、多くの人に見てもらえたかどうか確認できますね！

● 活かせるPOINT

- ✓ 1か月を通して、様々なトピックを継続的に発信することで、組合員も継続して意識するきっかけにできますね！
- ✓ SNSで発信するときは、学生委員会メンバーから積極的にいいね・RTといったアクションを起こしてみんなで広められると、より効果がありそうですね！



【この取り組みを通じて実現できること】

環境問題についてただ伝えるだけではなく、自分たちの大学生協が行っている取り組みと関連して伝えることで、組合員が「自分ごと」にしやすいです！ 普段食堂を使っている人が、自分の行動が環境に繋がっていると実感しやすいですね！





～ 3つの「時季」を意識した取り組み～

● 企画の背景・目的

【時季①】レジ袋が有料化される年！

7月から全国的・本格的に行われる「レジ袋有料化」に合わせて、レジ袋に関わるアンケートを実施。エコバックはもちろん、地球環境問題に関わる意識調査を行いました。レジ袋有料化という「時季」を期に、組合員が環境問題に目を向けることを目的にしていました。

【時季②】テスト期間！

大学のテスト期間に合わせて「楽しい企画」を行うことで、組合員を元気にすることも、目的でした。

【時季③】お正月！ 季節感を意識した「おもち配り」によって、組合員の生活の充実につなげることもまた、目的でした。



● 取り組みの概要

【日程】 2020/01/24（金） 15:00～17:00

【場所】 生協食堂の中央

【活動内容】

レジ袋有料化に関するアンケートを行い、回答してくれた組合員に「おもち」を配布しました。



● 組合員の反応

参加者は100名以上でした！
テスト期間ということもあり、休憩がてらに企画に参加する組合員も多かったようです。
「おもち」も、美味しいと評判になっていました。

レジ袋有料化に関するアンケートについては、**真剣に悩みながら回答する組合員**も多く見られ、**環境問題に目を向ける機会づくり**になっていたと考えられます！

● 活かせるPOINT

●「時季」を意識している！

組合員のニーズと、組合員に伝えたいことが両立しています！「楽しい企画が欲しい」時季に合わせて季節感を意識したコンテンツを用意した上で、環境問題に目を向ける機会づくりにも取り組んでいます。

●「組合員参加」が見える質問項目！

アンケート中に「エコバックの配布をしたら、使いますか？」という質問があり、一人一人の意見が運営につながる事が伝わります。



【この取り組みを通じて実現できること】
組合員一人一人が、レジ袋／エコバックの使用について意識的に生活していくことができる、と考えられます！レジ袋の使用料を減らすことも重要ですが、それ以上に「レジ袋が、今必要かどうか」考えることで環境によいだけでなく、生活の質の維持・向上につながります。





ゴミ分別 HANDBOOK

～組合員・地域に寄り添った環境への配慮～

● 企画の背景・目的

宮崎大学のGIでは、環境への取り組みとして、リ・リパック回収BOXの増設やボードの設置、生協店舗と連携して行った「エコweek」、環境問題の発信等、様々な活動を行っています。しかし、宮崎大学の学生は分別に関して意識が低く、知識が不十分であることが現状です。さらに、組合員から「ごみの捨て方が分からない」「どのようにごみを処理したらいいのか」など、ごみ分別への不安を抱える声がありました。そこで、ごみの適切な分別方法を知って貰うことを目的に、組合員に向けて発信できる「ゴミ分別ハンドブック」を作成しました。



● 取り組みの概要

正確な情報載せるために、宮崎市のごみの分別に関する要綱を参考にしました。部局員は作成時に実際にゴミ分別表を見て部局で話し合っどどのゴミを選ぶか話し合いました。宮崎市の適切なごみの処理方法や大学生活でのごみの分別についてまとめて、ハンドブックを作成し、在校生や新入生に向けて発信しました。

- ・宮崎市のごみ捨ての基本ルール
(指定ごみ袋、指定時間、ごみ別の適切な出し方等)
- ・分別について
(燃やせるごみ、燃やせないゴミ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、空き缶・空きびん、衣類・古紙、その他資源等)



● 組合員の反応

新入生には、「祝パック」という袋に入れて配布しました。中止になりましたが、4月の中古品市で、ごみ分別体験の後に、ハンドブックを参加者に配布する予定でした。

お金をかけて製作したので、責任を意識するようになりました。また、分別をはっきりさせることで、正しい分別をするという意識が生まれました。部会では委員同士で分別を確認しました。勘違いしていた部分に驚きながらも、間違いに気づくことができました。

● 活かせるPOINT

馴染みのないの土地で、はじめてごみの分別をする組合員が多いと思うのですが、分別方法やルール・収集のタイミングを知ることができるので、安心できると思います。

掲載するごみについても、大学生自身が選択することで、大学生が多用するもの、捨て方が分からないごみへの疑問解消に繋がっています。

記載されていないごみ、よくわからないごみに関しては、分別アプリの使用を促して、アプリの二次元コードが記載されています。

【この取り組みを通じて実現できること】

※分別がつかないものや、処理が分からないごみは、正しい分別方法が分からないまま、捨てるケースが多いと思います。しかし、大学生が頻用するものに特化した記載内容は、正しい分別方法を知ることができるだけでなく、組合員の今後の環境への配慮・意識の変化を期待できると思います！





三重宣言

～まず取り組むべき5つの宣言～

●「三重宣言」とは…

2019年6月22日～23日に、三重大学にて開催された「全国環境セミナー2019」において、参加者全員による「三重宣言」が行われました。

2日間のセミナーでの学びを踏まえて、各会員生協に戻ってできること・個人ができることを5項目に整理した宣言文を、閉会式で読み上げました。**環境活動に取り組む上で、まず意識したい5項目になっています！**ぜひ実践していきましょう！



三重宣言

「全国環境セミナー2019」を三重大学で開催するにあたり、四日市公害の教訓に学び、地球温暖化などの環境問題への解決策として、持続可能な開発目標（SDGs）に積極的に取り組むため、今ここに集まる私たちの実践を形とした「三重宣言」を行います。

今社会では、地球温暖化など地球規模の環境問題に焦点が当てられ、持続可能な開発目標（SDGs）に積極的に取り組んでいくことが求められています。全国環境セミナーに参加した私たちは、環境活動に取り組む意義を探り、継続した活動を行うため、仲間とともに、いまできることを取り組む大切さを学びました。

そこで私たちは、持続可能な社会の実現を目指し、日常的に社会に目を向け、人と人との“協同”を通じて、“考動”していくことをここに宣言します。

三重宣言①<資源の節減>

一人ひとりが、日常生活の中で、こまめな消灯やエコバッグの活用などを心がけることによって、資源の無駄な消費を削減することを目指します。

三重宣言②<倫理的消費>

自分の消費行動が環境に対して影響することを理解し、エコ商品・リサイクル商品を選択し、倫理的な消費行動に努めます。

三重宣言③<地域社会への参加>

自分の住むまちを知り、住み続けられるまちづくりに向け、ゴミの分別や清掃活動など、地域や社会が取り組む環境活動へ積極的に参加します。

三重宣言④<継続的な環境学習>

公害問題など過去の教訓を生かし、ニュースや調べ学習を通じて現在の課題に向き合い、持続可能な未来社会を想像しながら学び続けます。

三重宣言⑤<コミュニティの拡大>

直接的な対話やSNSを通じたコミュニケーションで、ともに環境活動に取り組んでいける仲間を増やします。



2019年6月23日
全国大学生協連・JUON NETWORK 共催
全国環境セミナー2019 参加者一同



活用するには??

～eco-opをみんなで活用しよう!～

「この冊子、内容はいいけどどう活用したらいいの?」そんな皆さんの声にお応えて、活用方法をご紹介します! (そんな声が無かったとしたら編集長の想いです笑) 様々な方に意見をいただきましたので、付箋形式でご紹介していきます。ひとつでも活用できると嬉しいです!

●こんな活用がされていました!

学生委員会で冊子を読んで学習し、SNSを用いて樹恩割りばしについて発信しました!
(20年度)



環境活動を始めるときに、学生事務局からの紹介で冊子に目を通して見ました!
(18年度)

編集委員がやってみた!

●実際に活用してみました!

冊子を読んで感想交流をしてみました!
「始めて知ったこと」
「他の人に広めたいこと」
などをもとに、できることを考えました!



冊子に掲載されているそれぞれの大学生協の取り組みについて話し合い、今の大学生協の環境活動を考えました!

編集委員が考えた!

●こんな活用方法がありそう!

(データで発信のため) 学生委員会の中で画面共有などをしながら一緒に見てみる!
→たくさんアイデアが出るかも!

大学へのアピールや教員の方と話すきっかけにしてみよう!
→環境活動だけでなく、大学生協の活動が広がるかも!!

学生委員会内の学習だけでなく、環境サークルなどにも紹介しよう!
→より多くの組合員と組合員活動ができるようになるかも!

全国環境セミナー2020のセミナー動画はこちらから視聴いただけます!
こちらの動画からも学ぶことができます!

https://youtube.com/playlist?list=PLuxmGVciC3-hh_p22k6Yhf9EipxHIH0QP

Point

この冊子を使って環境活動を広げていきましょう!
様々な場面で活用することができるはずです!





環境活動に取り込もう！

ぜひ、ワークをしてみましょう！

20環セミ企画③

【活動のゴールを決める】

このシートは、環境活動のゴールを考えていきます！このシートをとおして、自分が何に対して・何のために環境活動をおこなうのかを考え、活動の第一歩を踏み出しましょう。

◎理想を書きましょう！

現状や問題意識

解決が必要な課題



関連するものを線でつなぎましょう！

◎活動のゴール

具体的な日にちなども書いてみましょう！



環境活動に取り込もう！

ぜひ、ワークをしてみましょう！

20環セミ企画③

【活動のゴールを決める】

このシートは、ゴールに向けておこなう1年間の行動計画を立てていきます！「誰と一緒に行動できそうか」も考えることでより影響力のある活動になり、ゴールに近づけそうですね。（横向きに活用ください！）

何を する？	どこで 活動する？	誰が？	いつまで に？



1年後に実現していきたいこと



私は今から こんな環境活動をします

- eco-opを読んで、自分が取り組もうと考えた環境活動を書きましょう！

💡 アンケートへの回答にご協力ください！

『eco-op2021～環境活動の手引書～』を最後までお読みいただきありがとうございました。

今後の全国大学生協連の環境活動の推進および発行物の改善・向上のため、アンケートへのご回答にご協力をお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfZaauwW75cOa7PW1QgDfpu6xRwNde5h-Oa5VwoNBeIKJ6jg/viewform?usp=sf_linku



編集後記

● 社会的課題委員会（環境チーム）／全国環境セミナー2020実行委員会

『eco-op2021 ～環境活動の手引書～』は、社会的課題委員会の環境チームの委員と、全国環境セミナー2020実行委員会を中心に編集しました。今年度の環境活動を全国で推進してきたメンバーが編集委員として関わりました！

1年間の活動の集大成としての想いが詰まったこの学習冊子を、ぜひ各会員生協で積極的にご活用ください！



● 全国環境セミナー2020企画責任者よりメッセージ

環境に良い生活とはなんでしょう？

個人的に2020年は、改めて生活について考える年でした。自分の生活は、自分だけに影響を与えるのではなく、自分たちの地球に影響してきます。

新型コロナウイルス感染拡大により、私たちは外出を自粛した生活を強いられました。人と繋がってはいけない中で、どのように環境に良い生活を発信していくのか困難なことが多かったです。しかし、世界は、気候変動問題・海洋プラスチック問題など、問題そのものが収まることはありません。

大学生協に目を向けてみると、SNSを通じた活動を中心に環境啓発活動は多くなりました。自粛生活の中でも環境に良い生活や、自粛生活が明けた後のキャンパスライフを夢見て大学内の施設紹介にリ・リパック回収位置、レジ袋有料化に向けた啓発、樹恩割りばしについて広めていました。

大学生協の取り組みは組合員の生活の変化に直結することができる取り組みが多いと思われます。その結果、組合員が1枚でもレジ袋を辞退したり、1℃だけエアコンの温度を変えたり、そのような小さな積み重ねが数年後結果として現れてくると思います。環境に関する成果は見えづらいです。なので、楽しい環境活動や環境に良い生活を見つけみんなで1歩を進んでいきましょう。



皆川 淳哉

長野大学出身

● 『eco-op2021』編集長よりメッセージ

『eco-op2021 ～環境活動の手引書～』をお読みいただきありがとうございました。皆様のご協力により、全国環境セミナーの学びと、全国各地の大学生協における環境活動の実践が詰まった冊子になりました。編集に関わっていただいた編集委員の皆様、ならびに事例掲載にご協力いただいた会員生協の皆様に変更して感謝いたします。

2020年の1年間、新型コロナウイルスの影響を受けて従来の環境活動ができない状況が続きました。ステイホームでそれぞれが自分の行動を見直したり、大学生協を取り巻く事業も大きく変わりました。そのような中ですが、会員生協では環境活動が行われています。ぜひ、そのヒントを見つけてみてください！

SDGsの目標達成まで残り10年です。このタイミングで状況が変わったことは環境活動を見直すいいタイミングだと思います。ぜひ本冊子を活用して、“みんなで”取り組む“楽しい”環境活動をしてみてください！！



田島 慶大

東京農業大学出身



eco-op2021～環境活動の手引書～

2021年2月発行

発行元:全国大学生協同組合連合会

発行責任者:全国大学生協同組合連合会 専務理事

編集者:2020年度 全国大学生協連 社会的課題委員会

◆この冊子に関するお問い合わせ先
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22
Email : nfuca-gakusei@univ.coop

